

令和2年1月21日

北海道胆振総合振興局

白 老 町

北海道旅客鉄道株式会社

白老駅周辺整備事業における施設の供用開始等について

北海道・白老町・JR 北海道では、令和2（2020）年4月24日に開設が予定されている民族共生象徴空間「ウポポイ」（国立アイヌ民族博物館、国立民族共生公園等）の来場者受け入れに向けた白老駅周辺の交通アクセス整備を行っております。

この度、以下の施設において全面及び一部の供用開始を令和2年3月14日に決定しましたのでお知らせいたします。

また、同日から JR 北海道の特急北斗の一部を白老駅へ停車拡大します。4 月からは白老駅の乗換ご線橋と自由通路に設ける臨時改札の使用を開始し、白老駅からウポポイへのアクセス向上を図ります。

白老駅周辺整備事業の施設概要

(1)駅のバリアフリー化 【事業主体：JR 北海道】

- ・施設概要 乗換ご線橋新設
改札内エレベーター新設（2基、スレー型 11人乗）
上りホーム高さ改良（約 20cm 嵩上げ）
駅舎内改修（自動ドア新設、LED 列車発車標新設、触知案内盤新設等）

(2)自由通路（町道末広東町通）整備 【事業主体：白老町】

- ・施設概要 延長 60m、幅員 3m
南北昇降棟（エレベーター2基、スレー型 17人乗）

(3)駅前広場整備^{注1)} 【事業主体：北海道】

- ・施設概要 面積 約 2,700㎡
バスバース 1台、タクシーバース 2台、タクシープール 3台
自家用車バース 3台（身障者用 1台含む）、短時間駐車場 7台
キャノピー（上屋）

注 1) 暫定供用

(4)合築施設増改修 【事業主体：白老町】

- ・施設概要 公衆トイレ（男性・女性・多機能）増築
観光案内ブース改修^{注2)} ※駅舎内に設置

注 2) 観光案内ブースの供用開始は令和2年4月の予定。

(5)駅舎リニューアル等 【事業主体：JR 北海道】

- ・施設概要 臨時改札口新設^{注3)}
駅舎リフレッシュ（内外壁）
指定席券売機（クレジットカード専用）新設
特急列車乗車口案内装置新設

注 3) 臨時改札口の供用開始は、令和2年4月24日の予定。



白老駅周辺整備 完成イメージ図